



ぎふまち未来 ビジョン 2026

特集
②

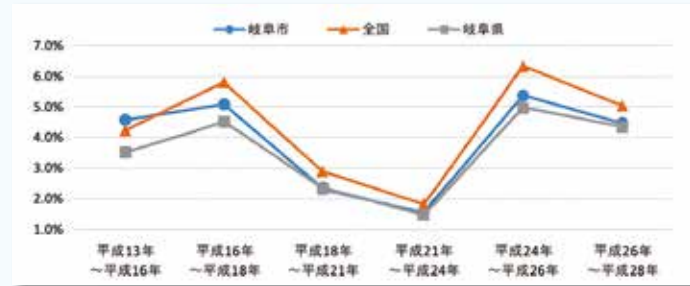
2 ぎふまちの「現状・課題」と「魅力・ポテンシャル」

地域経済の「稼ぐ力」を維持・発展させ、持続可能なにぎわいを創出するために、私たちが正視すべき現状の課題と、活かすべき独自の強みを3つの軸で整理しました。

1 産業・ビジネス基盤 稼ぐ力の代謝と伝統の継承

❶ **現状と課題** 名古屋圏への人材や企業の流出（ストロー現象）、地場産業の縮小などに直面し、事業所数は減少傾向にあります。全国平均と比較して開業率も低く、地域経済を牽引する新たなスタートアップの創出やビジネスの代謝が急務となっています。

★ **魅力・ポテンシャル** 名古屋中心部に比べてオフィス賃料や物価が安価であり、「コストパフォーマンスの高いまち」としての優位性があります。また、広域交通インフラの整備やリニア中央新幹線の開業を見据えた本社機能のバックアップ、サテライトオフィスの誘致による「ストック効果」が期待されます。織田信長公の「楽市楽座」以来、規制緩和と物流の融合で発展してきた伝統的な商人文化を土壌に、若者が気軽に「商い」に挑戦できる環境が整いつつあります。



■ 創業比率の推移 内閣官房「地域経済分析システム」データから当所作成

2 都市のにぎわい・観光・歴史資源 行く目的の創出

❶ **現状と課題** 「柳ヶ瀬グラッスル35」の誕生など新たな動きがある一方、大型商業施設の撤退やEC（電子商取引）の普及により、まちなかへ足を運ぶ直接的な動機が減少しています。また、豊かな伝統文化や自然などの観光資源を有しながらも宿泊率は約20%以下にとどまっており、夜間の消費行動（ナイトタイムエコノミー）や体験型コンテンツの不足が課題です。

★ **魅力・ポテンシャル** 柳ヶ瀬エリアは全国有数の規模を誇る「面の商店街（アーケード）」であり、近年は昭和レトロな街並みが若者や観光客を引きつけています。こうした既存の街の資産を磨き上げ、点在する歴史的エリアを「線」や「面」でつなぐことで、滞在型観光地としての大きな発展可能性を秘めています。



■ 日帰り客と宿泊客の推移 令和6年岐阜県観光入込客統計調査（岐阜県）データから当所作成

3 都市機能・交通インフラ・生活環境 ウェルビーイングの実現

❶ **現状と課題** 主要な公共交通が岐阜駅周辺に集中しており、通勤・通学時間帯の交通渋滞が慢性化しています。駅、柳ヶ瀬、岐阜公園といった主要拠点間を結ぶ二次交通（モビリティ）の利便性を高め、街全体の回遊性を向上させることが必要です。

★ **魅力・ポテンシャル** 30代・40代の子育て世代の転入超過（人口の社会増）が続いており、自然豊かな環境（長良川や金華山）とコンパクトな都市機能が調和した住みやすさが評価されています。さらに、内陸部で地盤が強固なため災害リスクが極めて低く、企業のBCP拠点としての高い安全性・優位性を有しています。



■ 岐阜市への転出入者数の推移 住民基本台帳データから当所作成

～『やっぱぎふやて!』と言える未来へ～

岐阜商工会議所では、次世代の地域経済を担う若手職員を中心に、当所議員をはじめとする多くの皆様から幅広くご意見をいただき、このほど「ぎふまち未来ビジョン 2026」を策定・公表いたしました。今後はこのビジョンで検討した施策について、当所の役員・議員で構成する各委員会にて検討を加え、政策要望や提言活動に活かしていきたいと思っております。本特集では、5ページにわたり同ビジョンの概要と、岐阜の未来を動かす具体的な戦略を徹底解説します。



1 はじめに 民間が積極的に参画するまちづくりへ

岐阜商工会議所の使命は、地区内の商工業者の総合的な改善発達を図り、地域経済の発展とともに社会一般の福祉の増進に貢献することにあります。また、商工会議所としての意見を公表し、公的な立場から社会や行政に働きかける重要な役割を担っています。

現在、岐阜市には、社会環境の変化等の外的要因と、岐阜市自身が抱える内的要因から生じる様々な課題があります。一方で、人口の社会増が続くとともに、広域交通インフラの整備が進んでおり、伝統文化や自然等の魅力ある観光資源にも恵まれ、そのポテンシャルは非常に高いと考えられます。

岐阜のまちづくりについて様々なプランが示される中、将来を見据えたまちづくりに民間事業者も積極的に参画し、行政と連携して推進していく必要があります。当所では、魅力溢れる岐阜のまちづくりに貢献していきます。



2『観る・知る・遊ぶ』感動と共感の空間創出

●子ども・若者が感動・共感する空間

香蘭地区の整備や、柳ヶ瀬エリアへのアーバンスポーツ・エンターテインメント複合施設の誘致を進め、若者やファミリー層が集う空間を創出します。



■複合施設のイメージ図

●歴史・観光コンテンツの整備・強化

岐阜城・岐阜公園での「ナイトピクニック」やライトアップイベント、朝の特別体験をパッケージ化し、滞在時間の延長につながる宿泊動機を創出します。



朝 船×モーニング



夜 鵜飼×おもてなしラウンジ



■昼の観光と夜の鵜飼

4つの歴史を追体験する「歴史回廊」

「金華・加納・柳ヶ瀬・川原町」の4つのエリアで歴史を追って重ねていく「歴史回廊」体験を、新たな岐阜観光の主要コンテンツとして作り上げます。点在する豊かな歴史的資産を「線」と「面」で結び、滞在型観光のシンボルルートを構築します。



■ 戦国時代



■ 江戸時代



■ 昭和レトロ



■ 戦国～江戸時代

岐阜歴史回廊 ～時代を超えてつながる4つの物語～

← 回廊

3『学ぶ・育む』まちまるごとキャンパス

●交流拠点「柳ヶ瀬ベース」の創出

使われていないビルをサテライトキャンパス、シェアハウス、コワーキングスペースが一体となった拠点へ再生し、学生と地場企業が日常的に交わる場を作ります。

●一貫した職業・産業体験

伝統産業を体験できる「産業学習館」の常設や、子どもたちが商店街で店長を体験する「やってみ店長サン(仮称)」などの教育プログラムを展開します。



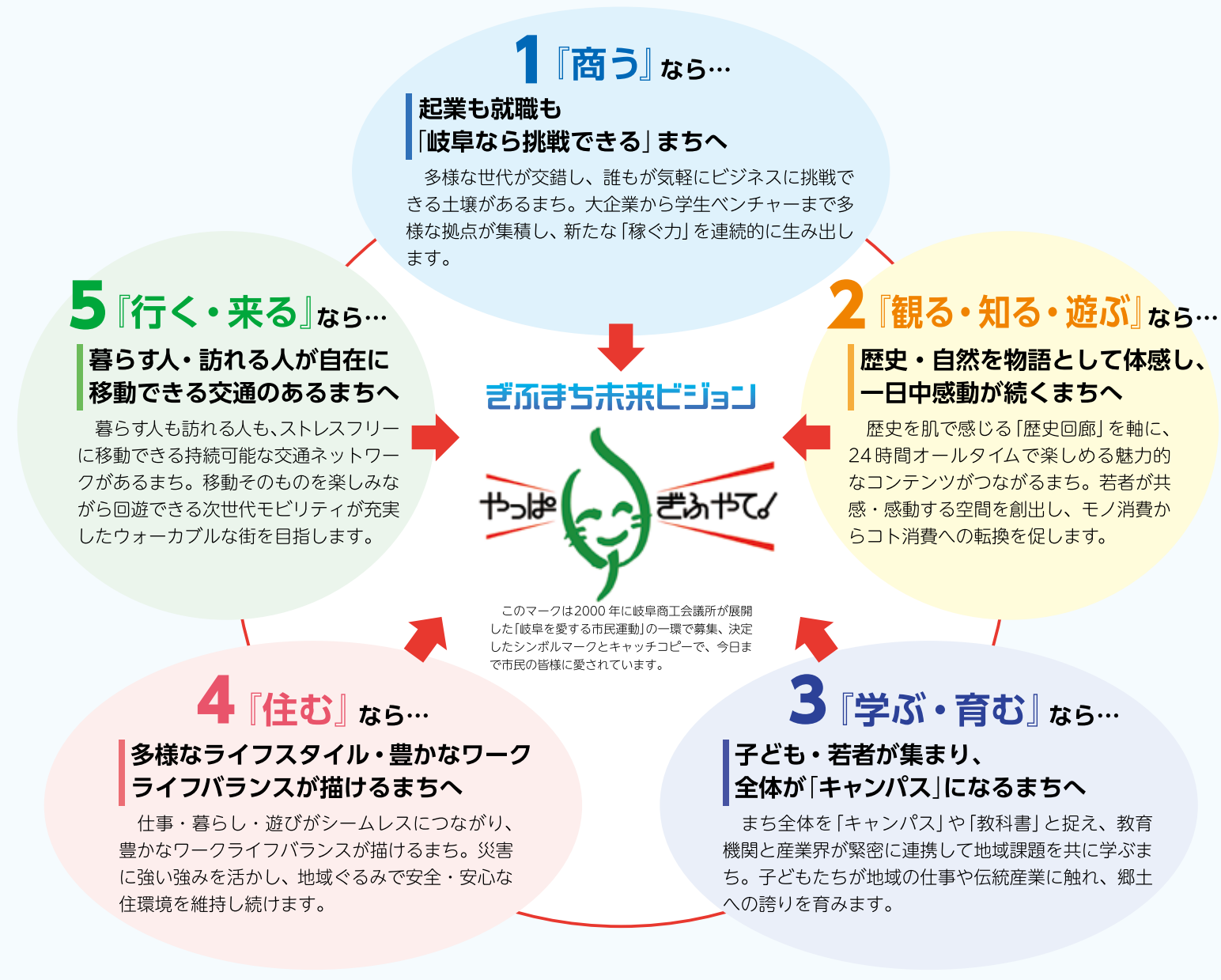
■ まちなかで講義を開催



■ 伝統産業の体験

3 ビジョンの核心 目指す将来像(5つの観点)

岐阜がすべての人にとって「目的地」として選ばれる街となるよう、5つの観点から目指す将来像を掲げました。子どもから若者、子育て世代、そして商いに関わるすべての人が、**自信と愛着(シビックプライド)**を持てる未来を目指します。



4 将来像を実現するための取り組み(アクションプラン)

5つの目指す将来像に紐づく、具体的なアクションプランを展開します。理想を現実の形へと動かすための戦略的なプロジェクトです。

1『商う』起業の聖地・ビジネスの集積

●スタートアップ・起業支援の強化

「柳ヶ瀬チャレンジショップ」の創設や店舗をシェアする「二毛作賃貸」により、初期投資を抑えて挑戦できる環境を整備。また、古民家等を活用した「岐阜商人塾」を開講し、次世代の起業家を育成します。

●駅前エリアの活性化

本社機能やBCP拠点を官民連携で誘致。また問屋町での創業講座・支援を通じて挑戦を促します。アパレルや飲食中心の商店街を創出、誘致に加え、夜市の開催や地元食の発信ストリート形成により日常的な人流を取り込み、駅前の賑わい再生を図ります。

●ライフサイエンス拠点の形成

黒野地域において、岐阜大学・岐阜薬科大学等と緊密に連携し、医療・ヘルスケア関連企業やスタートアップが集うプラットフォームを構築します。



4『住む』豊かな暮らしと安心の環境

●まちなか居住とサードプレイスの確保

職住近接を推進するための家賃補助制度の実施や、子どもたちが放課後などに安心して過ごせる「サードプレイス(居場所)」の設置を進めます。

●強固な地盤を活かした安全・安心な地域づくりの推進

地域の事業者や住民が一体となった防災コミュニティの形成や、BCP(事業継続計画)と連動した安全・安心な住環境の維持・向上に地域ぐるみで取り組み続けます。



5『行く・来る』ストレスフリーな移動と回遊

●主要拠点間を結ぶ交通ネットワークの強化

岐阜駅、柳ヶ瀬、岐阜公園をはじめ、まちなかの主要拠点間を結ぶ二次交通(モビリティ)の利便性を高め、市民や観光客がストレスなく自在に移動できる環境を整備します。

●次世代モビリティの導入と実証

自動運転バスの社会実装に向けた検討を進めるとともに、電動キックボード、トゥクトゥク、コミュニティサイクルなどの多様な次世代移動手段を確保し、移動そのものを楽しめる仕組みを構築します。

●歩いて楽しい「ウォーカブルな街並み」の推進

主要な通りにおいて歩行者中心の安全な動線(トランジットモール等)を確保し、公共交通と連動した「車に頼りすぎない街」を目指すことで、街全体の回遊性を劇的に向上させます。

■ 巡回バスルート+乗り合いタクシー(イメージ図) ■ ビジョンにおける新路線



5

おわりに 志を一つに、未来への力強い一歩

本ビジョンは、岐阜のまちで働き、暮らしてゆく当所の若手職員が中心となり、このまちの未来に強い想いを寄せる方々や当所議員と真摯に意見を交わしながら策定しました。

ビジョンのサブタイトル「やっばぎふやて!と言える未来へ」には、歴史的資産を次世代の感性で磨き上げ、子どもから若者、子育て世代、そして、すべての人がこのまちに誇りと愛着(シビックプライド)を持てる未来を創りたい、という強い願いが込められています。

岐阜商工会議所の使命は、地域経済の発展と会員企業の繁栄に貢献することです。

今後はこのビジョンで検討した施策について、当所の役員・議員で構成する各委員会にて検討を加え、政策要望や提言活動に活かしていきたいと考えております。同時に、まちのにぎわいを創出するためのイベントの企画や気運醸成、さらには多角的な情報発信を継続的かつ主体的に展開していきます。

このビジョンの実現のためには、関係者と強固なネットワークを築き、ともに実行に移していく必要があります。そのためには、岐阜の発展を願うすべての関係者が、岐阜の持つ計り知れないポテンシャルを信じ、「志」を一つにして力を結集することが不可欠です。

関係者とさらに議論を深め、共に汗を流し、誰もが自信と愛着を持って「やっばぎふやて!」と言える未来を創り上げていきましょう!